

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	漁港の高潮警戒出向時、海面上昇により陸地との区別が判断できず隊員が海中に転落した。
3. 体験した事例の中心的要素	夜間の高潮警戒出向時に、海面上昇の程度を確認するため、隊員が海岸線ぎりぎりまで近付いたことにより、陸地と海の区別が判断できず海中へ転落した。
4. 体験した事例の原因・理由	・夜間のため視界が不良であったこと。 ・鳶口等で水深を確認しながら行動しなかったこと。 ・活動前にライトやその他資機材で安全確認を怠ったこと。 ・隊長の指示、隊員の危険予知不足

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。(延焼の広がりが思ったより早かった等)
------------------	---------------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 年 月 日 時頃
2. 発生した当時の天候	雨
3. 発生した活動現場	屋外：海岸線 岸壁付近
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重症の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	墜落・転落、おぼれ
7. 事例体験時の活動	
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	
9. 同様の体験は、これまでにどの頻度で体験していますか	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性(回答者は当事者A)

○当事者A	年齢[50]歳、勤続年数[32]年、現場経験年数[32] 年、階級[消防司令] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [機関員]
○当事者B	年齢□歳、勤続年数□年、現場経験年数□ 年、階級□ 同様の活動 □、任務 □
○当事者C	年齢□歳、勤続年数□年、現場経験年数□ 年、階級□ 同様の活動 □、任務 □
○その他(当事者が4人以上の場合)	当事者D 年齢:20歳 勤続:2年 現場経験:2年 階級:消防士 同様の活動:初めて 任務:隊員

11. 事例発生の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	調査のため、海岸線へ向かった。	
経過2	当事者A	海面調査のため海岸の岸壁付近に近づいた。	
経過3	当事者A	海中へ転落した。	
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで泥んだのはどうしてだと思うか？

- ・たまたま、事故にならなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方針が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が濡れたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境や、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

漫然や油断があった。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

どうしても避けられないものもあるが、多くの場合は慣れや不注意、油断から来るものが多いと思われる。普段できない事は現場や活動時でも出来ないものである。
普段から小さなことにも目を向けることを大切にしたい。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について



岸

